

福祉系高等学校 情報開示シート

区 分	情報開示の項目	
設置者に関する情報	氏 名	宮城県知事 村井 嘉浩
	住 所	宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号
福祉系高等学校等に関する情報	名 称	宮城県迫桜高等学校
	住所連絡先	宮城県栗原市若柳字川南戸ノ西184番地 0228(35)1818
	校長名	目黒 幸治
	開設年月日	平成24年4月1日
	学 則 等	学則等
	施設設備の概要	教室19 福祉介護実習室1 基礎看護実習室1 和室3 被服実習室1 調理実習室1・ 図書室1(蔵書約20,000冊)
養成課程に関する情報	養成課程の教育課程表	令和3・4・5年度入学生教育課程表
	定 員	1学年20名
	入学までの流れ	迫桜高校Hp 入試情報参照
	費 用	・入学検定料 2,200円 ・入 学 金 5,650円 ・その他諸費 ＜1年次＞ - 諸団体会費 12,500円 - PTA会費 3,000円 後援会費 8,000円 - 同窓会費 1,500円 - 学校徴収金 34,000円 - 学年諸経費 30,000円 - 副教材費(共通) 2,300円 - 行事費 1,700円 - 教科書・補助教材費 19,104円 - 制服(男子冬物) 65,450円 (夏物) 27,885円 (女子冬物) 66,682円 (夏物) 28,710円 - 体育用品・上履き・体育館シューズ 20,380円 ＜2年次＞ - 年次諸経費 35,900円 - 副教材費(共通) 2,100円 - 教科書・補助教材費 29,493円 - 実習費 13,000円

	< 3 年次 > 年次諸経費 38,681 円 副教材費 (共通) 950 円 教科書・補助教材費 9,130 円 実習・国試対策費 40,758 円																		
教員数 科目別担当教員数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>福祉科教員 4 名</th><th>担 当 者</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会福祉基礎</td><td>千葉美奈子</td></tr> <tr> <td>介護福祉基礎</td><td>四釜 千尋</td></tr> <tr> <td>コミュニケーション技術</td><td>川嶋 真実</td></tr> <tr> <td>生活支援技術</td><td>梅宮 将</td></tr> <tr> <td>介護過程</td><td></td></tr> <tr> <td>介護総合演習</td><td></td></tr> <tr> <td>介護実習</td><td></td></tr> <tr> <td>こころとからだの理解</td><td></td></tr> </tbody> </table>	福祉科教員 4 名	担 当 者	社会福祉基礎	千葉美奈子	介護福祉基礎	四釜 千尋	コミュニケーション技術	川嶋 真実	生活支援技術	梅宮 将	介護過程		介護総合演習		介護実習		こころとからだの理解	
福祉科教員 4 名	担 当 者																		
社会福祉基礎	千葉美奈子																		
介護福祉基礎	四釜 千尋																		
コミュニケーション技術	川嶋 真実																		
生活支援技術	梅宮 将																		
介護過程																			
介護総合演習																			
介護実習																			
こころとからだの理解																			
使用する教材	教科書：社会福祉基礎 (実教出版) 介護福祉基礎 (実教出版) コミュニケーション技術 (実教出版) 生活支援技術 (実教出版) 介護過程 (実教出版) こころとからだの理解 (実教出版) 副教材：最新 介護福祉士養成講座②⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ (中央法規出版) イラストで見る介護用語事典 (福祉教育カレッジ)																		
教材 (教育用機器及び模型)	実習用モデル人形 2 人体骨格模型 1 成人用ベッド 1 2 移動用リフト 1 スライディングボード 3 車いす 1 3 簡易浴槽 1 ストレッチャー 2 排泄用具 (さし込み便器) 1 1 (尿器) 5 (ポータブルトイレ) 5 T 歩行補助つえ 7 盲人用安全つえ (普通 1 5 携帯 2) 視聴覚機器 (テレビ・ビデオ・プロジェクター) 6 障害者用調理器具・食器類 2 1 和式布団一式 4																		
介護実習施設等の名称、住所及び事業内容	・ J A 新みやぎ栗っこケアサービスセンター (宮城県栗原市志波姫堀口見渡 2 番地 1) ・ 訪問介護事業所 (宮城県栗原市築館薬師三丁目 6 番 2 号) ・ 登米市社協石越デイサービスセンター (宮城県登米市石越町南郷字新石沢前 4 7 番地の 4) ・ 迫デイサービスセンター 翠風荘 (宮城県登米市迫町北方字大洞 4 5 番地 3) ・ 中田デイサービスセンター 菊風荘																		

- (宮城県登米市中田町浅水字長谷山 3 5 2 番地 2)
- ・栗駒デイサービスセンター
(宮城県栗原市栗駒岩ヶ崎三島255番地)
- ・いちょうの里デイサービスセンター
(宮城県栗原市築館下宮野館108番地)
- ・花泉デイサービスセンターソエル花泉
(岩手県一関市花泉町涌津字一ノ町 76 番地)
- ・若柳デイサービスセンター
(宮城県栗原市若柳武鎗字藤貫沢85番地)
- ・デイサービスセンター さくらの里若柳
(宮城県栗原市若柳川北塚原15番地 7 号)
- ・栗原市志波姫デイサービスセンター
(宮城県栗原市志波姫北郷大門85番2号)
- ・通所介護スキップデイサービスセンター
(宮城県大崎市田尻通木字中崎東 24 番地 2)
- ・デイサービスセンター桂葉
(宮城県栗原市高清水新桂葉 278 番地 2)
- ・特別養護老人ホーム 若藤園
(宮城県栗原市若柳武鎗字藤貫沢85番地)
- ・特別養護老人ホーム ソエル花泉
(岩手県一関市花泉町涌津字一ノ町 76 番地)
- ・特別養護老人ホーム ソエルいちのまち
(岩手県一関市花泉町涌津字一ノ町 76 番地)
- ・特別養護老人ホーム 千葉福寿園
(宮城県栗原市志波姫北郷大門85番2号)
- ・特別養護老人ホーム 迫風園
(宮城県登米市迫町北方字洞56番地6号)
- ・特別養護老人ホーム 萩風園
(宮城県登米市中田町浅水字長谷山352番地の 4)
- ・特別養護老人ホーム いちょうの里
(宮城県栗原市築館下宮野館108番地)
- ・特別養護老人ホーム 福光園
(岩手県一関市萩荘字大袋 56 番地 4)
- ・特別養護老人ホーム 風の路
(宮城県登米市迫町大洞字 45 番地 3)
- ・特別養護老人ホームかごぼうの里
(宮城県大崎市田尻通木字中崎東 24 番地 2)
- ・特別養護老人ホーム桂葉
(宮城県栗原市高清水新桂葉 278 番地 2)
- ・介護老人保健施設 シエスタ
(宮城県栗原市金成末野字台下31番地 1)
- ・介護老人保健施設 なかだ
(宮城県登米市中田町浅水字上川面65番地 1)
- ・介護老人保健施設 藤の里
(宮城県栗原市瀬峰新田沢12番地 1)
- ・介護老人保健施設 夢の楽園高森ロマンホーム
(宮城県栗原市築館字下高森 124-1)
- ・介護老人保健施設 南方ナーシングホーム 翔裕園
(宮城県登米市南方町山成前791番地 1)
- ・介護老人保健施設 グレイスガーデン
(宮城県栗原市若柳字福岡谷地畑浦 35)
- ・認知症対応型共同生活介護 グループホームなごみ
(宮城県栗原市志波姫北郷大門 85 番地 2)
- ・南方グループホーム翔裕園

	(宮城県登米市南方町山成前791番地 1) ・グループホームまいはあと (宮城県栗原市若柳字福岡谷地畑浦 88) ・障害者支援施設ほっとさわべ 1 (宮城県栗原市金成梨崎道ノ上 7-1) ・就労移行支援事業所・就労継続支援 B 型事業・就労定着支援事業所 すてっぷ (宮城県登米市石越町南郷字小谷地前 245) ・共同生活援助事業所・短期入所事業所 すけっとホーム (宮城県登米市石越町南郷字小谷地前 1-1) ・地域密着型特別養護老人ホームルグネット宮野 (宮城県栗原市栗駒岩ヶ崎下川原 19 番地) ・地域密着型特別養護老人ホームルグネット岩ヶ崎 (宮城県栗原市築館宮野中央 1 丁目 1-7) ・若柳共生型デイサービスつむぎ (宮城県栗原市若柳武鎗字藤貫沢 85 番地)
介護実習 の内容及 び特徴	< 1 期 > 障害者施設および老人施設の現場を実際に見学して介護活動の概要を学び、 対象への接し方を獲得する。 (1) 目標 ①居宅サービスを受ける高齢者や障害を持つ人の暮らしと環境について 理解する。 ②利用者や施設職員との触れ合いを通して、介護場面でのコミュニケー ションの重要性と技術を学ぶ。 ③施設職員の一般的な援助活用の概要を知る。 (2) 介護実習の内容 ①事前指導 (介護福祉基礎) : 実習の意義・目標の理解 施設の概要、実習諸記録の仕方、実習の日程・日課、実習施設の概要、 施設までの交通機関、実習中の礼儀や生徒の立場の礼節を改めて認識 し、人間的成長に向けて心構えを培う。 ②事前訪問 : 実習生及び指導者の自己紹介。施設の概要を理解し実習上 の注意事項を確認する。 実習指導者から施設概要や利用者の要介護度、障害の程度、利用者 の日課、年間行事等、また、職種別業務分掌、勤務体制等の説明を 受け、生活環境や施設生活、職員の業務等を理解する。また、実習 をする上での注意点を確認する。 ③現場実習 : 利用者とのコミュニケーション、生活環境・介護職の理解 利用者とのコミュニケーションや日常生活全般 : 起居移動・食事・ 排泄・清潔・整容・更衣の観察から、施設概要や利用者の要介護度、 障害の程度、利用者の日課、年間行事等について理解する。 ④施設内反省会 : それぞれの感想や気づきを発表し、実習指導者から助 言及び感想をいただく。 < 2 期 > 障害者施設および老人施設の現場を実際に見学して介護活動の概要を学 び、対象への接し方を獲得する。また、利用者のニーズの個別性を確認し、 指導を受けながら、介護の初歩的・基本的な援助計画を考え援助活動を経 験する。 他職種との連携、会議やカンファレンス・引き継ぎ等の見学をする。 (1) 目標 ①施設で生活する高齢者や障害を持つ人の暮らしと環境について理解す る。

- ②利用者や施設職員との触れ合いを通して、介護場面でのコミュニケーションの成立の重要性と技術を学ぶ。
- ③施設職員の一般的な援助活用の概要を知る。
- ④日常生活の援助を通し、利用者のニーズの個別性を理解する。
- ⑤レクリエーションの意義を考え計画、実践する。

(2) 介護実習の内容

- ①事前指導（生活支援技術）：実習の意義・目標の理解
施設の概要、実習諸記録の仕方、実習の日程・日課、実習施設の概要、施設までの交通機関、実習中の礼儀や生徒の立場の礼節を改めて認識し、人間的成長に向けて心構えを培う。
- ②事前訪問：目標達成のため、各自の実習目標や方法の検討
実習指導者から施設概要や利用者の要介護度、障害の程度、利用者の日課、年間行事等、また、職種別業務分掌、勤務体制等の説明を受け、生活環境や施設生活、職員の業務等を理解する。
- ③現場実習：利用者とのコミュニケーション、日常生活の介助から生活環境・介護職の理解、
居宅サービスの意義を理解し、個々の利用者のニーズを把握する。
利用者とのコミュニケーションや日常生活全般：起居移動・食事・排泄・清潔・整容・更衣の観察・介助から、施設概要や利用者の要介護度、障害の程度、利用者の日課、年間行事等を理解する。また、レクリエーションを企画実施し個別援助の必要性を考える。
- ④施設内反省会：実習目標への到達度の評価、課題の発見等について実習指導者から指導を受ける。

< 3 期 >

特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設にて施設介護の概要を理解し基本的な介助を経験する。また、受け持ち利用者を担当し、コミュニケーションや日常生活の援助を通し、ICFの項目に沿って利用者の状況の把握を行う。指導を受けながら、介護の初歩的・基本的な援助活動を経験する。後半では、受け持ち利用者の介護過程を実践し評価する。利用者の個々のニーズに応じた介護について思考を深める。

(1) 目標

< 前半 >

- ①施設で生活する高齢者や障害を持つ人の暮らしと環境について理解する。
- ②日常生活の援助を通してコミュニケーションの重要性や受け持ち利用者の状況を把握する。
- ③職員とのカンファレンスにてICFの項目に基づく受け持ち利用者の状況を正確に理解する。
- ④介護過程を作成できる。

< 後半 >

- ①介護過程を実践できる。
- ②実践を通して生活課題が解決されたか評価できる。
- ③再アセスメントすることができる。

(2) 介護実習の内容

< 前半 >

- ①事前指導（介護総合演習）：実習の意義・目標・内容の理解
施設の概要、実習諸記録物の仕方、実習の日程・日課、実習施設の概要、施設までの交通機関、実習中の礼儀や生徒の立場の礼節を改めて認識し、人間的成長に向けて心構えを培う。ICFの意味について確認する。受け持ち利用者へのアプローチの仕方について確認する。
- ②事前訪問：目標達成のため、各自の実習目標や方法の検討
実習指導者から施設概要や利用者の要介護度、障害の程度、利用者

		の日課、年間行事等、また、職種別業務分掌、勤務体制等の説明を受け、生活環境や施設生活、職員の業務等を理解する。受け持ち利用者の決定方法を確認する。 ③現場実習：ICFの項目に沿った受け持ち利用者の理解。基本的な介護技術の実践。 利用者とのコミュニケーションや日常生活の援助を通しICFの項目に沿って受け持ち利用者の状況を把握する。また、施設介護について理解し、日常生活全般(起居移動・食事・排泄・清潔・整容・更衣等)の介助や利用者の要介護度、障害の程度、利用者の日課、年間行事周囲の環境等を理解し、利用者の状況に合った介護サービスを考える。 ④施設内反省会：受け持ち利用者の状況把握について助言指導。課題の発見等について実習指導者から指導を受ける。 <後半> ①事前指導（介護総合演習）：実習の意義・目標・内容の理解 介護過程の確認。利用者主体の計画になっているかの確認。具体的な介助方法について。 ②事前訪問：目標達成のため、各自の実習目標や方法の検討 受け持ち利用者の状況の確認。介護計画を持参、相談し、実習指導者から助言指導頂く。 ③現場実習：利用者とのコミュニケーションや日常生活の援助を通しICFの項目に沿って受け持ち利用者の状況を確認する。介護計画に変更があれば速やかに行う。介護方法に利用者の意見を取り入れ、工夫する。実践評価を行う。 ④施設内反省会：実習目標への到達度の評価、受け持ち利用者への介護の実際について実習指導者から指導を受ける。 (3)事後指導 ケースレポートをまとめ実習を振り返る。
実績に関する情報	卒業生の延べ人数	93名
	卒業生の進路状況	<進学先> 東北福祉大学福祉学部社会福祉学科 仙台白百合女子大学人間学部心理福祉学科 仙台白百合大学人間学部健康栄養学科 修紅短期大学幼児教育科 水沢学苑高等看護学校 大崎市医師会附属准看護学校 仙台リハビリテーション専門学校 理学療法科 仙台理美容専門学校 <就職先> 社会福祉法人 宮城福祉会 社会福祉法人 恵泉会 社会福祉法人 共生福祉会 萩の郷福寿苑 社会福祉法人 つくし会 特別養護老人ホーム 福光園 特別養護老人ホーム 千葉福寿園 特別養護老人ホーム いちょうの里 特別養護老人ホーム 若藤園 特別養護老人ホーム 愛光園 介護老人保健施設 藤の里 介護老人保健施設 翔裕園 介護老人保健施設 シエスタ 介護老人保健施設 高森ロマンホーム

		介護老人保健施設 グレイスガーデン 介護老人保健施設 なかだ 介護老人保健施設 ファンコート泉 株式会社リハサポート 桜樹 株式会社ここみケア なごみの里サポートセンターすてっぷ 宮城県社会福祉協議会 社会福祉法人 大崎市社会福祉協議会 医療法人財団姉齒松風会 石越病院 財団法人佐藤病院 株式会社ケア・ライフ・フェイス J Aみやぎ登米 山崎製パン株式会社 八木山ベニーランド ウジェスーパー くりはら葬儀社 セブンイレブン金成PA 上り店 株式会社 勝野製菓宮城
その他の情報		第30回介護福祉士国家試験 100 %合格 第31回介護福祉士国家試験 100 %合格 第32回介護福祉士国家試験 100 %合格 第33回介護福祉士国家試験 100 %合格 第34回介護福祉士国家試験 76.5 %合格 第35回介護福祉士国家試験 100 %合格